

森林官からのおたより

利根沼田森林管理署 花咲森林事務所

森林官 清水川 一儀



私の担当する花咲森林事務所、鎌田森林事務所は片品村全域の国有林を管理しています。

片品村は群馬県の北東部に位置し、約9,500haの国有林を抱えています。東を向けば「日光白根山」や「三ヶ峰」、西を向けば日本百名山の「武尊山」と山々に囲まれた人口約5,600人の観光事業が盛んな村です。尾瀬をはじめとする自然が豊富などところで、大変空気が美味しいところです。

花咲森林事務所では2名の基幹作業職員と共に国有林の管理を行っています。片品村は積雪も多いため、12月から4月は雪のため林道も通行できません。雪が積もるまでは収穫調査や測定業務などの事務を行っています。近年は収穫調査量が増加したこと、実行できる期間が限られていること、更に併任をしながら進めないと事業が間に合わないおそれもあります。雪が積もる頃になると基幹作業職員はスキー場へ委託業務に

出するため、冬の間は溜まった書類の整理や更新貸付、スキー場点検などを行っています。このような流れで仕事をを行ううちに1年があつという間に過ぎてしまいます。

片品村は関東局管内の中でもスキー場が多い自治体で、村内には7箇所のスキー場があり、5箇所が国有林で貸付しています。雪質も大変良いことから、毎年シーズンになると



日光白根山の遠望



事務所での多忙な1日

多くのスキー客で賑わい、主要道路が混雑することも多々あります。

私自身スキーは嗜む程度ですが、着任した時、スキー場が近場に多いため大変驚きました。また、スキー場の安全祈願祭には森林官が呼ばれ、緊張しながらも国有林のピーアールを行っています。

この地域は昔から国有林との結びつきも強く、「一緒に「山の神」を祀ったり、小学校の入学式などの地域の行事には森林官が招待されるなど密接な関係が築かれおり、近所の皆さんも親身になりお世話をしてくれています。

私が異動してきた年の冬は、豪雪で一晩に1m程積もることもありました。事務所には除雪機が配備されていないため人力で除雪作業を行っていましたが、近所の皆さんが機械

を出して手伝ってくれたり暖かい心使いに感謝の気持ちで一杯になりました。暫く前から地元と国有林の関係が希薄になっていく地域もありますが、普段から手を取り合っている関係が今後も続いていくよう微力ながら尽くしていきたいと思っています。

森林官になって5年が経ち、ある程度の業務もこなせるようになりましたが、日々が勉強だと実感しています。

また、森林官になってからは人と接する機会が格段に増え、様々な方達と国有林の在り方や森林へのアドバースを受けるなど情報を交換しています。



現地で打合せをする森林官 (左側)